



町に新たな防災拠点を整備

防災拠点整備・人材育成に助成金



9月25日、第三期「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」事業の決定書授与式が役場で行われました。

この事業は、B & G財団が災害発生時の緊急対応・避難所運営に必要な防災倉庫の整備や機材配備、災害現場で役立つ実践的な研修などに係る費用について、3年間で総額6400万円を上限に助成を行うと共に自治体との災害時の相互応援などの体制づくりを推進するものです。

川添町長は「昨今、国内で多発する災害を考えると、事業のありがたみを痛感する。活用し、安心安全なまちづくりを目指していきたい」と感謝の言葉を述べました。

濱村さんが漁業士に認定

後継者への指導に努めたい



濱村修二さん（薄井）が令和6年度漁業士認定証交付を受けたことを9月25日、川添町長に報告しました。

指導漁業士は、優れた漁業経営または漁家加工などの活動を行い、漁村青少年の育成に指導的役割を果たしている60歳未満のかたを対象に県知事が認定し、交付しています。

濱村さんは、先進的なサバの養殖に取り組み、積極的な販路拡大や後進の漁業者の指導を行っていることなどが評価されています。交付を受けて「後継者が多い地区なので、みんなを引っ張っていけるよう努めたい」と話しました。

猟友会と鷹巣幼稚園のキジ放鳥

またいつか会おうね



9月27日、国鳥とされるキジの繁殖を目的に町猟友会が、針尾公園周辺で生後約4カ月のキジ20羽を放鳥しました。

同会員3人と鷹巣幼稚園の園児5人が参加。力強く飛び立つキジに園児らは驚いた様子でしたが、飛んでいく姿をやさしく見守りました。

同会の上田利則会長は「子どももキジたちもそれぞれのフィールドで大きくなってほしい」と話し、小田朱莉ちゃん6歳は「とても楽しかった。またいつか会おうね」と笑顔でキジ達を見送りました。

第19回自治公民館対抗グラウンド・ゴルフ大会

川床上チームが3連覇



9月29日、第19回自治公民館対抗グラウンド・ゴルフ大会が川床コミュニティ運動場で開催され、31集落から74チームが参加し、川床上チームが見事3連覇しました。秋晴れの中でのプレーする選手からは、ホールインワンが出るたびに、大きな歓声が上がっていました。

大会の結果は次のとおりです。

「優勝」 川床上D

「準優勝」 山中C

「3位」 田尻A